

天文ハイキング [XII]

金星太陽面経過観測記念碑

この碑は私達自身が建てたものです。除幕式は昭和49年(1974年)12月9日、即ち満100年の記念日に行いました。(天文月報 Vol. 68, No. 4 参照)

1874年メキシコ観測隊が来日し横浜で金星の日月経過の観測に成功しました。これが日本にとっても近代天文学の黎明となった事件でした。そのとき使用された望遠鏡の台石の一部が民家の庭の一隅に残されていたので、この保存については故神田 茂先生も早くから考慮されていました。たまたま昭和48年このことに関する齊藤国治先生の論文が発表されたので神奈川県下のアマチュア天文家達が相計り記念碑の建設を計画した処、幸運にも箕輪敏行氏の知人の某県会議員の協力を得て神奈川県並に横浜市よりの助成金を得て目的を達することが出来ました。除幕式にはメキシコ大使ルーナ氏も列席されました。碑は小松石で幅185cm、高さ、125cm、厚さ35cm、碑文の最上部には齊藤先生撰文のスペイン語で



金星太陽面経過観測記念碑

EL TRANSITO DE VENUS

9 DICIEMBRE 1874

と書かれています。

場所は横浜市西区紅葉ヶ丘県立青少年センターの入口で、国鉄桜木町駅下車、東京方向へ約500m引返した通称紅葉坂を上りつめた処です。(森久保 茂)

今回にて「天文ハイキング」シリーズを終ります。多少とも御参考になりましたら望外の幸です。全国各地でこの様な試みをなされたら如何がでしょう。思わぬ発見があるかも知れません。(川崎天文同好会一同)

☆ ☆ ☆  
☆ ☆ ☆

◇ 12月の天文暦 ◇

日 時	記	事
5 1	上 弦	
7 14	大 雪	(太陽黄経 255°)
10 24	水 星	外合
11 9	月	最近
11 18	望	
16 24	海王星	合
17 4	金 星	最大光度
18 15	下 弦	
22 8	冬 至	(太陽黄経 270°)
24 8	月	最遠
26 19	朔	
30 17	金 星	留

◇ 12月の日月惑星運行図 ◇

